

2005年度事業報告

2006年5月28日
未来バンク事業組合事務局

1. 組織

未来バンク事業組合は、民法667条に基づく組合として1994年4月5日に設立しました。2006年3月31日現在において、組合員は415人、出資金は158,177,862円に達しております。理事は定員7人に対して6人が就任し、1名欠員、監事は定員1人に対して1人が就任しております。

また、未来バンクの融資部門として未来舎を1994年7月11日に設立しました。未来舎も民法667条に基づく組合として設立され、2006年3月31日現在において組合員3人、出資金142,772,717円に達しております。そのうち、未来バンク事業組合の出資金は142,769,717円になっております。

未来バンク事業組合の理事・監事の名簿及び略歴

理事長	田中 優	1957年生まれ、地方公務員。
業務執行理事	木村 瑞穂	1960年生まれ、会社員。
理事	田中 徹二	1947年生まれ、地方公務員。
理事	奈良 由貴	1960年生まれ、団体勤務。
理事	吉田 達	1956年生まれ、人材開発トレーナー。
理事	岡田 純	1971年生まれ、税理士。
理事	欠	欠
監事	水口 剛	1962年生まれ、公認会計士

未来舎の理事・監事の名簿及び略歴

理事長	奈良 由貴	1960年生まれ、団体勤務。
理事	佐藤 正兵	1942年生まれ、団体勤務。
理事	欠	
監事	水口 剛	1962年生まれ、公認会計士。

2. 事業概要

(1) 概要

1994年4月5日に設立され、1994年7月10日に早稲田奉仕園で実質的な旗揚げを行った当組合も12期目を迎えました。12期目に入っても、マスコミ報道、口コミを通して組合員は徐々に増え、2006年3月末時点で組合員415人、出資金は1億5千万円を超えています。

未来バンクの融資部門として設立した未来舎は引き続き融資業務を行いました。

また、ニュースレターの発行などの事業も行いました。

(2) 融資事業

融資事業は未来舎を通して実施しております。未来舎は東京都知事に対する登録

を行っているため、営業店は東京都内にしか設置できませんが、融資は全国的に行うことができます。

2005年度の新規融資は24件ですが、今年から融資先について公表することにしましたので、その団体名は明示しています。1件の共済融資を除くと、他のすべては事業融資でした。環境NGO、NPO(非政府組織、非営利組織 = 市民団体)に対する事業融資がほとんどを占め、個人名であれ団体名であれ、いずれも非営利目的のものでした。2005年度の融資総額は、64,063,600 円で、2005年度までも含めた累計は686,296,775 円と、6億8千万円を突破しました。

しかし一方で、事業の失敗などにより、返済が遅延される債権が増えました。今のところ返済の意志はあり、貸倒れの扱いはしていませんが、実質的には返済の可能性の乏しい債権も300万円含まれています。これまで、半年以上の遅延について、貸倒引当金を50%積んで来ましたが、来年度に向けて、そのパーセンテージを上げることも検討しています。今年度、貸倒引当金の額が6,589,035 円となりました。それでも累積で赤字に陥ることはありませんでしたが、単年度の黒字を相殺して赤字となり、これまで累積されてきた事業準備金を減少させる(7,104,848 5,188,120 円 - 連結ベース)見通しです。

融資決定の仕組みについて、さらに改善したいと思います。

(3) その他の事業

また、ニューレターは第43号(2005年4月)から第46号(2006年1月)の4号を発行しました。

3. 決算の概要

通信費を中心とした費用が130,419 円であったのに対して、事業収入、その他の収入、未来舎業務委託収入の合計が373,639 円で、207,944 円の当期利益を計上しました。

また、未来舎においては、金利収入は1,246,491 円であったが、貸倒引当金繰入が増えたため、3,144,111 円の赤字となった。

2005年度決算報告

2006年5月28日
未来バンク事業組合事務局

1. 損益計算書 (2005.4.1 2006.3.31)

未来舎業務委託収入	240,000
ニュースレター購読料収入	133,500
その他の収入	139
費用	-165,695
当期利益	207,944

なお、「未来舎業務委託収入」とは、未来舎の広報活動等についての包括業務委託契約に基づく業務委託収入である。「その他の収入」は預金金利等である。また、「費用」については、主として「切手代等」である。

2. 貸借対照表 (2006.3.31 現在)

預金	17,330,546	出資金	158,177,862
未来舎出資金	142,769,717	事業準備金	1,714,457
		当期末処分利益	207,944
合計	160,100,263	合計	160,100,263

3. 出資金異動明細

期首	当期増加	当期減少	期末
151,552,936	11,695,082	5,070,156	158,177,862

【参考】未来バンク連結決算(連結対象:未来舎)

1. 損益計算書 (2005.4.1 2006.3.31)

金利収入	1,246,491
ニュースレター収入	133,500
その他収入	139
費用	197,941
貸倒引当金繰入	4,118,356
当期利益	-2,936,167

2. 貸借対照表 (2006.3.31 現在)

預金	106,073,699	未払金	15,605
融資	63,298,139	貸倒引当金	6,589,035
未収金	601,784	出資金	158,177,862
		少数出資者持分	3,000
		事業準備金・未来舎剰余金	8,124,287
		当期末処分利益	-2,936,167
合計	169,973,622	合計	169,973,622

(注)「少数出資者持分」とは、未来舎に対する出資金のうち未来バンク以外の出資者に係る分である。

3. 要管理債権

延滞期間	融資額(元本)	貸倒引当金	標準引当率
3ヶ月未満	0	0	10%
3ヶ月以上6ヶ月未満	0	0	20%
6ヶ月以上1年未満	0	0	30%
1年以上	12,934,877	6,589,035	50%

(注)延滞期間が3ヶ月以上の融資及び延滞期間が3ヶ月未満でもリスクの高いと思われる融資については、要管理債権として情報開示を行うとともに貸倒引当金を計上している。融資元本と未収利息の合計に貸倒引当率を掛け合わせるにより貸倒引当金を計上する。引当率は原則として標準引当率を用いるが、個別に変更することができる。

4. 事業準備金等(未来舎剰余金を含む)の状況

未来舎等の出資団体(現在は未来舎のみ)に対する出資金の10分の1を目標として計上する。

出資金	目標額	事業準備金等	未計上額
158,177,862	15,817,786	8,124,287	7,693,499

本決算の当期末処分利益の全額を事業準備金等として計上した場合には次のようになる。

出資金	目標額	事業準備金等	未計上額
158,177,862	15,817,786	5,188,120	10,629,666

監査報告書

監査の結果、上に掲げる未来バンク事業組合および未来舎を含めた連結決算の貸借対照表および損益計算書は、2006年3月31日現在の財政状態および同日をもって終了する事業年度の経営成績を適正に表示しているものと認めます。

2006年4月26日

監事

水口剛

2005年度利益処分

2006年5月28日

未来バンク事業組合事務局

2004年度の利益処分は以下のとおりとし、配当は行わない。

	利益処分前	利益処分後
事業準備金	1,714,457	1,922,401
当期末処分利益	207,944	